問われる私たちの公徳心

ゴミの不法投棄　なぜかあと断たず

こんな無責任の山
―環境悪化で社会問題―

日常生活の中から出るゴミこのゴミをあなたはどのように処理していますか。

消費生活が豊かになりいろいろなゴミが多く出るようになった今日、そのゴミの処理方法によって自然環境を悪化し大きな社会問題となっている所もあります。

このようなことが村でも現実に起きています。

「この所にゴミを捨てないで下さい」という立看板をよく見かけることがありますが

不法投棄のゴミ（小阿賀用水端、沢海地区）

これらの付近では、いろいろなゴミが不法投棄されています。沢海地区の小阿賀用水路の端では、瓦、コンクリートブロック、農業用資材等が山のように投げ捨てられています。また小阿賀野川一帯の河川敷では日常生活から出る不燃物ゴミがあちらこちらに捨てられ、地域の生活環境を悪くしています。

また、以外と気付かないのが道路へのゴミの投げ捨てです。これらのゴミは自動車からの投げ捨てと思われる、空きかん、たばこの吸いがら等が多く道路沿えの下水や用水路に一杯つまっているのを見かけます。これらのゴミのほとんどは不燃物ゴミで自然に消えて無くなることはありません。人の手を使わなければいつまでもそこに残るゴミです。

自分一人くらいは、だれかが処理してくれるだろう、等と無責任きわまるゴミの不法投棄でその地域の自然環境を悪化し、多くの人達が迷惑を被っています。社会のルールを守り、みんなでゴミの不法投棄をなくし、住みよい村にしたいものです。

道路周辺も空き缶で一杯
車からポイでは困ります

一つぐらいはいいだろうと、道路や公園などに投げ捨てられる空きかん。

ジュースやビールなどのかん飲料は、年に約一〇〇億個が造られるといわれ、その空きかんのすべてが回収されているわけでありませんから投げ捨てられる空きかんは、ぼう大な量にのぼっているということが想像できます。これが〝空きかん公害〟といわれるゆえんです。

投げ捨てられた空きかんは街や、自然の美観を損うばかりか、再資源化の点でもマイナスです。また、私たちの公徳心に正面から疑問を投げかけているといえないでしょうか。

本村の場合、道路の周辺や田んぼに多く空きかんが投げ捨てられ、農家の人たちは大弱り。二本木地区で聞いてみました。

話…畑や田んぼに投げられ困っている。子どもに一ついくらにして拾わせたことがあるがあんまり多くて袋二つ位で千円をやったことがある。

話…袋にまとめて捨てていく人がいる。肥料袋に六個位あった。

話…ちょっと拾っても袋一つくらいになる。みんな飲んだら車の中におけばよいが、それが飲んでは、ポイポイと投げていく、困ったものだ。

一方、ドライバーは、空きかんの処理についてどう考えているか、聞いてみると、〝車のナット袋に入れ、家に帰って捨てている〟〝会社のくずかごに捨てている〟〝目的地に行って捨てる〟など優等生の答えが帰ってきました。

どこでも空き缶がコロコロ

みなさんの場合はどうでしょうか。

環境庁が行なったアンケート調査によると、空きかんを捨てる理由として「近くにゴミ箱がなかった」が約四〇%を占め、続いて「自動車にのっていて始末に困ったから」一五%「ゴミ箱のあるところや家にまで持って行くのが面倒だったから」一二%―などとなっています。

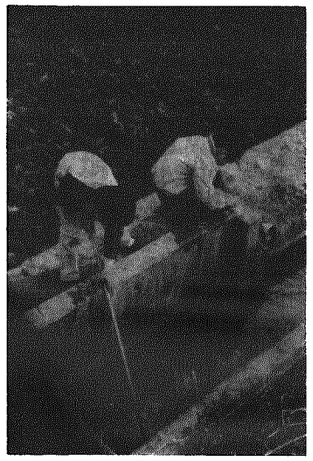
空きかん公害は、いまや大きな社会問題となっていますが、回収作業は、販売者や購入者がほとんどやらず、そのツケが地元の人たちや市町村でやらなければならず、私たちの納める税金を捨てているということになります。

資源の少ない日本として、また、礼を重んずる日本人として、いま一度再資源化と共同生活のルールを考えていく必要があります。

〝即〟死亡につながる水の事故
―水温むこれからが危険―

毎年、五月を迎えると、子供の水の事故が発生しはじめ特に春の農繁期に入ると、幼児・児童の事故が増える傾向にあります。そこでこれらの水死事故防止についていくつかを紹介してみましょう。

幼児等の水死事故ほど痛ましいものはありません。ついさきほどまで元気に走り回っていたのに、ほんのちょっと目を離したばかりに変わり果てた姿になってしまう……こんな悲しい思いをせずに済んだのにと思うとき、その原因はどんなところにあったのかもう一度真剣に考えてみたいと思います。



用水路で無心に遊ぶ子供達

㈠幼児の監護に手ぬかりなく

◇子守りは、簡単のようで仲々難しい仕事です。留守番や炊事の片手間で子守りをすることはやめましょう。

◇幼児は言葉で注意をしてもわかりません。常に、自分の目と行動でしっかり監視しましょう。

◇仲間といっしょにいるからといって安心は禁物です。友だちが溝などに落ちたとき助けようとして自分も溺れるという例が多くみられます。

◇静かに遊んでいるからといって油断はできません。幼児は思いたったとたんに、別の行動に移ることがありますので注意してください。

㈡家庭周辺には危険箇所がいっぱいある

◇幼児の水死事故は、そのほとんどが家庭内、またはその周辺の「まさか」と思うような場所で起きています。浴槽、水がめ、バケツ、洗濯だらい、便つぼ、下水溝、用水路、庭池等例をあげれば限りがありません。このような危険を家庭や地域で点検し、防護対策をたててください。

㈢水死事故に対する理解と関心を！

幼児の水死事故のうち、交通事故とくらべると水死事故が圧倒的に多いにもかかわらず、これが一般にほとんど知られていない状況です。幼児が、危険な場所で遊んでいるときは、すぐに注意をするか保護者に連絡してください。

カラオケ
駒込地区大会開催
愉快に歌い語り踊る

有線放送協会では、今年一月からカラオケを自主番組に取り入れ、藤山地区を皮切りに毎月二人づつ紹介していますが、四月が駒込地区に当ったため出演者（和澄孝男さん、和澄凉子さん）の録音をかねて駒込カラオケ愛好会（会長志田清一）による〝カラオケ駒込地区大会〟を、四月十八日夜駒込公会堂で開きました。

大会の計画が急であったため、集ったのは愛好会のメンバーがほとんどの夫婦連れ二十名余りと、協会からアナウンサー等三名が出席。ステージ度胸をつけるため「まじない水」でのどを潤おし、十六名の男女が自慢ののどを披露されました。

途中、飛入り参加もあって会場は和やかに終始し、ダンスを楽しむ若者もおり、親睦が第一というものの歌はみんな上手でした。そのなかで少し調子の乗ったひと小武正子さん、岩田周二さん、和澄久雄さんの三人には特別賞が、そのほかには心づくしの景品がそれぞれ有線放送協会から贈られました。

自慢ののどを披露

愛の献血にご協力を

5月17日（月）

午前10時～12時　公民館

午後1時～3時　塚田牛乳

商業統計調査にご協力を

基準日6月1日

通商産業省では、昭和五十七年六月一日現在で商業統計調査を実施します。

この調査は、わが国の商店分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業、小売業及び飲食店を営んでいるすべての商店を対象に行われます。

調査は、都道府県知事から任命された商業統計調査員が商店を直接訪問し、調査票に記入していただいて回収する方法で行います。

そこで村では、五月下旬から六月上旬にかけて調査員が訪問しますのでご協力ください。

第27回俳句作品公募

◎句題　三題通じて六句
夏めく（夏きざす）、母の日、苺（苺摘、苺畑）
◎締切　五月二十五日（火）
◎提出先　横越村公民館

不用機械の払下げ
（自走式大型防除機）

村では、不用となった防除機を左記により払下げ処分しますから希望の方は入札に参加されるようご案内します。

記

一、払下げ機種・台数
自走式大型ダスター（防除機）初田式HD―一〇〇
2台（6年9か月経過）
二、払下げ方法
一般競走入札
三、入札日時
57年5月25日午前十時から
四、入札場所
村機械格納庫（木津中央会館前）
五、代金納入、引渡し
代金納入と引替に物品は引渡しとする。
六、その他
本機は防除機の再利用は不可能であり、搬送に利用の場合でも修理を要します。

病院名変更

亀田町渡辺病院（院長渡辺信一）が四月一日から亀田第一病院と名称を変更いたしました。